

## ご挨拶

山口県立下関中央工業高等学校

校長 中村 圭治

平成26年度望洋会会誌発行、誠におめでとうございます。望洋会の皆様方には、ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。平素から本校教育の推進のため物心両面にわたってご支援を賜っておりますことに対しまして厚くお礼を申し上げます。

私は平成25年度末の異動によりまして4月に着任いたしました。今年度、創立105年目となる歴史と伝統のある下関中央工業高等学校に勤務できますことはこの上ない喜びとともに職責の重さを痛感しております。校訓「質実剛健」のもと生徒・教職員が一丸となって良き伝統を継承していかねばと意を新たにしております。

さて、今春も135名の卒業生が新たに皆様方の仲間入りをさせていただきました。全ての卒業生が進路実現を果たし卒業することができましたことは、市内・県内・県外で活躍されておられる諸先輩方のお陰によるものと大変感謝をしております。また、本年度の求人状況も昨年度に増して好調であることも幸せております。

ここで、本年度の在校生の活躍状況について紹介をさせていただきます。

まず、運動部ですが、本年度は野球応援について初回戦から全生徒による応援体制を組みました。野球部員の実力と在校生・保護者・卒業生の応援が一体となりベスト8まで勝ち上がることができました。その歴史と伝統ある応援団を中心とした一糸乱れぬ本校の応援が評価され山口朝日放送株式会社から、「きらり夏」賞という応援を対象とした賞をいただきました。

また、剣道部、水泳部は中国大会へ出場しております。さらに、ものづくり関係では、土木科が中国地区測量技術競技大会に出場し活躍しております。さらに県内の「ものづくりコンテスト」におきましては、旋盤作業・化学分析・木材加工・測量等の部門に参加し活躍しております。この様に、現在、多くの生徒が早朝より放課後まで運動部（13部）、文化部・同好会（10部）の活動や資格取得に向け、懸命に努力しながら毎日の学校生活をおくっております。

平成28年度に新たな工業高校が下関の地に開校しますが、現在の本校の良き伝統を継承させ、機械・造船・建築・土木・化学・電気・電子の7つの学習分野を持つ県内最大規模の学校となる予定であります。望洋会の皆様には今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

おわりに、望洋会の皆様方の益々のご活躍とご健勝を祈念いたしましてご挨拶いたします。